

2021年度

環境経営レポート

土佐新高建設 株式会社

運用期間
2021年4月～2022年3月

発行日
2022年6月8日



目次

1. 組織の概要	・・・3
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	・・・4
3. 環境経営方針	・・・5
4. 環境管理組織体制	・・・6
5. 環境経営活動への取組の全体概要	・・・7
6. 2021年度環境経営目標・環境経営計画	・・・8
7. 環境経営目標の実績	・・・9
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	・・・14
～2021年度 土佐新高の環境トピックス～	・・・15
9. 次年度の取組内容	・・・18
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有	・・・21
11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	・・・24



1, 組織概要

● 事業所名および代表者名

土佐新高建設株式会社
代表取締役 祇園 和男

● 所在地

【本社】 〒780-8019 高知県高知市北竹島町490 TEL.088-832-3931
【幡多営業所】 〒787-1221 高知県四万十市三里1391 TEL.0880-38-2055

● 環境管理責任者氏名 及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名 工事部長 吉村直則
連絡先担当者 工事部長 吉村直則
連絡先 TEL: 088-832-3931
FAX: 088-832-3536
E-mail: n-yoshimura@tosashinko.co.jp

● 事業内容

建設業 (主に 道路、スポーツ施設等の舗装工事)
建設業許可 許可番号 高知県知事 許可(特一2) 第 6237号
許可年月日 令和2年8月10日
建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業 石工事業
舗装工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業

● 事業規模

設立 昭和 63年 4月
資本金 2,000万円

	2019年度	2020年度	2021年度
売上高 (百万円)	1152	842	803
従業員数 (名)	32	32	32
事業所延べ床面積 (m ²)	295	295	295

従業員数は 32人(2022年6月8日現在)

● 会計年度

会計年度: 4月～3月

2,対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

- 対象範囲(認証・登録範囲)

全社の事業所及び現場

対象事業所

本社:高知県高知市北竹島町490 (常駐:25名)

幡多営業所:高知県四万十市三里1391 (常駐:7名)

事業活動

建設業(土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業)

- レポートの対象期間

2021年4月 ~ 2022年3月

- 環境経営レポートの発行日

2022年6月8日

(次回発行予定日=2023年 6月頃)

- 作成責任者

環境管理責任者 吉村直則

3,環境経営方針

環境経営理念

土佐新高建設株式会社は、高知県内を主体に道路等の舗装工事を行っています。
地球や地域の環境を守り、美しい地球を子供たちに引き継いでいく為、
事業活動における環境負荷を低減し、継続的改善による環境経営を推進していきます。

環境経営方針

- 1) 全部署の従業員に対して、環境経営方針を掲示等により周知させ、環境経営に関しての教育を行い、環境保全の重要性を高めるように啓発活動を行います。
- 2) *重機、車両の燃料使用量の抑制により、二酸化炭素排出量を削減します。
*事務所および建設現場で使用する電力使用量の抑制により、二酸化炭素排出量を削減します。
*建設作業及び本社業務における廃棄物排出量を削減します。
*業務における水使用量を削減します。
*化学物質の使用時は、購入～使用～廃棄まで一貫して適切に監視します。
- 3) 環境負荷の少ない工事を行います。
- 4) グリーン購入を進め、環境に優しい事業活動を行います。
- 5) 環境関連法規並びに条例を遵守します。
- 6) 環境活動のP・D・C・Aを継続し、持続的に環境への負荷の低減を図ります。
- 7) 「環境経営レポート」を作成し、一般に公表します。

2022年4月18日

土佐新高建設株式会社
代表取締役

祇園和男

4,環境管理組織体制

認証・登録の適用範囲

- ・土佐新高建設株式会社
- ・本社及びその現場
- ・幡多営業所及びその現場

代表者変更 令和4年4月1日
西原靖 から 祇園和男

代表者

社長 祇園 和男

環境管理責任者

吉村 直則

本 社

二酸化炭素排出量削減 化学物質適正使用 担当	廃棄物排出量削減 松元 孝文	水使用量削減担当 竹村 恵子
津野 祥章	関連法規等 担当 河野 有和	グリーン購入推進担当 現場担当者

幡多営業所

二酸化炭素排出量削減 化学物質適正使用 担当	廃棄物排出量削減 関連法規等 担当	水使用量削減担当 朝比奈 ゆみ子
山崎 雅夫	増田 和男	グリーン購入推進担当 現場担当者

●環境経営システム 役割・責任・権限

代表者 (社長)

- ・環境経営に関する統括責任。
- ・環境経営システムの実施に必要な 人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
- ・環境管理責任者を任命。
- ・経営における課題とチャンスの明確化
- ・環境経営方針の策定・見直し・指示及び全従業員へ周知
- ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認。
- ・環境経営目標・環境経営計画・環境経営活動実施体制を承認。
- ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施。
- ・環境経営レポートの承認。

環境 管理責任者

- ・環境経営システムの構築、実施、管理。
- ・環境関連法規等の取りまとめ票を確認。
- ・環境経営目標・環境経営計画・環境経営活動実施体制を確認。
- ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告。
- ・環境経営レポートの確認。

ワーキング グループ

- ・環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局として機能する。
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。
- ・環境経営目標、環境経営計画・環境経営活動実施体制原案を作成。
- ・環境経営活動の実績集計。
- ・環境関連法規等取りまとめ表の作成。
- ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
- ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）

部門長

- ・自部門における環境経営システムの実施。
- ・自部門における環境経営方針の周知。
- ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。
- ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。
- ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。
- ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。テスト、訓練を実施、記録の作成。
- ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。

全従業員

- ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。
- ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加。

5.環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 燃料使用量、二酸化炭素の総排出量は、年度削減目標値を大きく達成することができました。
- 現場事務所でのエアコン、冷蔵庫等の使用が多く総使用量が増加していました。
- 燃料使用量は、前日の段取りによる車の乗り合わせや、現場までの移動ルートの打合せを行い走行距離の削減等を目指しました。
- 今年度は取壊しを多く含む工事があり産業廃棄物の総排出量自体は増加していました。対して、産業廃棄物の排出後の再利用率は昨年度よりも高くなりました。
- 地域の環境美化活動として、本年度はロードボランティア活動（10回）と近隣公園の清掃を実施しております。
- また、今年度は高知県の以下の2つの制度の登録・認証を行いました。

こうちSDGs推進企業登録

SDGsの達成に向けた取り組みを行っている高知県内事業者について、高知県が登録する制度です。県内事業者による「企業価値の向上」や「多様な人材の確保」などとともに、SDGsの取り組みの裾野を広げることを目的としている。



登録番号：36

登録期間：
令和3年10月22日から
令和6年10月21日まで

高知県ワークライフバランス推進認証企業

誰もが働きやすく、従業員の方々が働き続けられる職場環境づくりを目指し、「次世代育成支援」「介護支援」「年次有給休暇の取得促進」「女性の活躍推進」「健康経営」に積極的に取り組んでいる企業を県が認証する制度です。



認証部門：
健康経営部門

認証番号：
第444号

認証年月日：
令和3年10月1日

6-1.2021年度環境経営目標

対象期間 2021年4月～2022年3月

● 2021年度 単年度目標

総量の目標値	単位	基準値 ※1	2021年度 目標
二酸化炭素排出量 ※2	kg-CO ₂	266,973	258,964 (-3%)
燃料使用量	ガソリン	23,219	23,451 (+1%)
	軽油	66,957	69,635 (+4%)
電力使用量	kWh	35,300	23,651 (-33%)
廃棄物総排出量	t	4,393	3,470 (-21%)
水使用量	m ³	630	454 (-28%)
廃棄物再資源化率 ※3	%	97.7	99.0%以上
グリーン購入	%	74.2	80.0%以上
環境負荷の少ない工事件数割合 ※4	%	100	100

売上高百万円当たりの目標値	単位	基準値 ※1	2021年度 目標
二酸化炭素排出量 (削減率%)	kg-CO ₂	366.0	267.2 (-27%)
燃料使用量	ガソリン	32.0	24.3 (-24%)
	軽油	92.0	71.8 (-22%)
電力使用量	kWh	49.0	24.0 (-51%)
廃棄物総排出量	t	5.74	3.62 (-37%)

※1 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※2 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

- ・経済産業省公表値による。
四国電力(株) 0.000529 t-CO₂/kWh
出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO₂/kWh

※3 廃棄物再資源化率=産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※4 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。 ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用 ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・遮熱性舗装の施工

6-2. 環境経営計画

対象期間 2021年4月～2022年3月

2021年度		活動内容	担当者	備考
CO ₂ 排出量削減	燃料 使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	オペレーター	作業指示書に記録
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	オペレーター	
		○タイヤの空気圧チェック	車両担当者	
		○タイヤの磨耗チェック、交換	車両担当者	3か月毎、契約工場にて点検を受ける。
	電力 使用量削減	○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者	
		○昼休み・帰宅時の消灯	竹村：山崎：朝比奈	
		○不要照明の消灯（人がいない場所の消灯）	竹村：山崎：朝比奈	
		○空調機の温度設定（夏28℃、冬20℃）	竹村：山崎：朝比奈	
水使用量削減 (排水量削減)	○不使用时のパソコンの電源OFF	技術職・事務職員		
	○工事に雨水等利用	オペレーター		
	○食器等のまとめ洗い	事務職員		
	○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	車両担当者		
廃棄物 削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	松元	集計表に計量値を記録
		○コピー用紙の裏紙使用	技術職・事務職員	再利用できる紙は所定の置き場に置く。
		○両面コピー、縮小コピーの実施	技術職・事務職員	
		○印刷前の書類の文書確認の徹底	技術職・事務職員	
	産業廃棄物	○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	オペレーター	
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者	
		○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者	
		○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者	
グリーン購入	○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	山崎：朝比奈		
	○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事担当者		
	○設計・見積り時に再生材料を選定する。	松元		
化学物資排出量削減	○化学物質としない材料の選定	工事担当者		
	○化学物質使用量削減の為の工法検討実施	工事担当者		
環境負荷の少ない工事実施	○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者		
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者		
	○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者	工期の短い工法への変更も検討する。	
	○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者	県工事は工事毎県へ報告	

7-1.環境経営目標の実績(単年)

対象期間 2021年4月～2022年3月

※ 目標比率 = (実績値/目標値 - 1) * 100 (%)

(数値がマイナスであればより削減できたことを表し、プラスであれば目標値に達しなかった事を表します。)

※ 実測値の () の数値は基準値に対する削減比率です。

※ 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※ グリーン購入の目標値は、当社の主たる事業活動である舗装工事において使用する砕石とAs. 合材の再生材料の使用率とすることに改めた。

各項目の総量の実績

項目	単位	2012年度～2014年度 基準値	2021年度 目標値	2021年度 実績値	目標比率 (%)	実績費用 (万円)	単価 (円)	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	266,973	258,964 (-3%)	215,371 (-19.3%)	-16.8	1,269	59	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	23,219	23,451 (+1%)	22,813 (-1.7%)	-2.7	356	156
	軽油	ℓ	66,957	69,635 (+4%)	55,611 (-16.9%)	-20.1	746	134
電力使用量	kWh	35,300	23,651 (-33%)	24,978 (-29.2%)	+5.6	74	30	
廃棄物総排出量	t	4,393	3,470 (-21%)	5,242 (-19.3%)	+51.1	913	1,742	
水使用量	m ³	630	447 (-29%)	407 (-35.4%)	-8.9			
廃棄物再資源化率	%	98.0	99.0%以上	99.91 (+1.9%)	+2.0			
グリーン購入	%	74.2	80.0%以上	93.7 (+26.3%)	+12.9			
環境負荷の少ない工事件数割合 ※1	%	100	100	100	100			

■ = 目標を達成した項目

■ = 目標を達成しなかった項目

※1 廃棄物再資源化率 = 産業廃棄物再資源化量 / 産業廃棄物総排出量

※2 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・遮熱性舗装の施工
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用

※3 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

- ・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0.000529 t-CO₂/kWh

出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO₂/kWh

※ 集計の詳細は、「環境への負荷の自己チェック」による。

各項目の原単位（売上高百万円）当りの実績

項目	単位	2012年度～2014年度 基準値	2021年度 目標値	2021年度 実績値	目標比率 (%)	実績値 -基準値	利益 (円) ※1
二酸化炭素排出量	k g -CO ₂ /百万円	366.0	267.2 (-27%)	267.9 (-26.8%)	+0.3	-98.1	5,789
燃料使用量	ガソリン	ℓ/百万円	32.0	24.3 (-24%)	28.4 (-11.3%)	+16.8	
	軽油	ℓ/百万円	92.0	71.8 (-22%)	69.2 (-24.8%)	-3.7	
電力使用量	k W h/百万円	49.0	24.0 (-51%)	31.1 (-36.6%)	+29.4		
廃棄物総排出量	t/百万円	5.74	3.62 (-37%)	6.52 (+13.6%)	+80.1	0.78	-1,359

2021年度の売上高は **804** (百万円)でした。

※1 売上高百万円当たりの利益とは、各項目の(本年度実績値-基準値)*単価により算出しました。

単価は、前ページの各項目の実績に要した費用に対する単価です。

二酸化炭素排出量及び廃棄物排出量の削減の環境活動により、基準値に対し売上高百万円当たりでは、 $5,789円 - 1,359円 = 4,430円$ となっております。

2021年度の売上804百万円あたりでは、同じ売上高で排出割合が基準値だった場合に比べて、 $4,430 \times 804 = 3,561,720円$ のコストダウンをしたこととなります。

○ 本年度は二酸化炭素の総排出量に関して目標を達成することができており良好である。しかし電力使用量と産業廃棄物の排出量の項目で目標を達成することが出来ておらず、また、基準として想定していた売上高(960百万円)に対して売上高が804百万円と少なく、比例して百万円当たりの割合のガソリン及び電力使用量、及び廃棄物総排出量の項目でも目標達成することが出来ていなかった。

○ 未達成項目・理由

ガソリン使用量割合… 遠方での舗装工事受注の為、原単位での数値が上昇した。

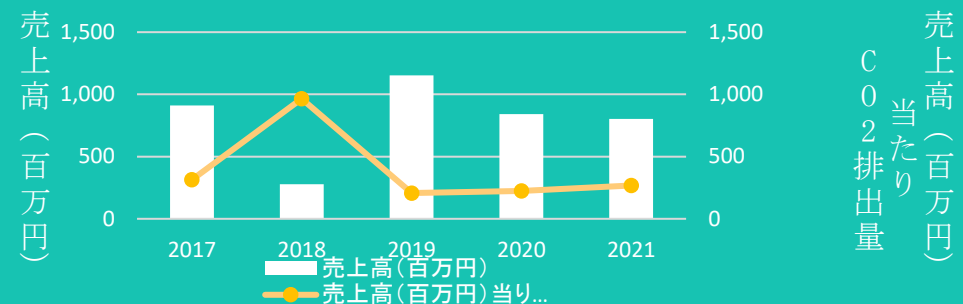
電気使用量・割合… 工事において現場事務所でのエアコン、冷蔵庫等の使用が多く、総使用量が増加した。また、事務所内での作業や宿舍の利用において固定的に電力を使用しているが、売上高が減少したため、原単位での数値が上昇した。

産業廃棄物排出量割合… 国道439号工事、県道窪川船戸線等の路面切削を伴う舗装工事受注の為、As, Con塊等の排出量が多く原単位での数値が上昇した。

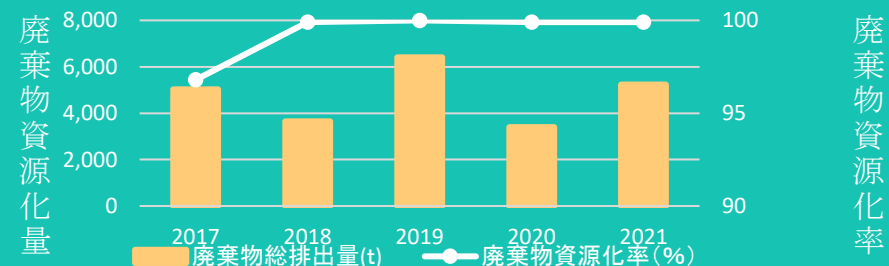
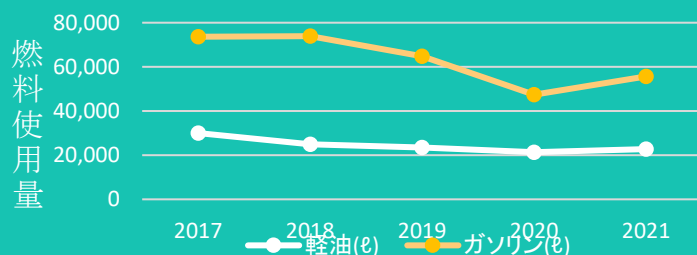
7-2.環境経営目標の実績（過去5年の実績）

項目	基準値※1	2017	2018	2019	2020	2021
CO ₂ 排出量総量(kg-CO ₂)	266,973	284,769	269,495	238,789	187,815	215,371
売上高(百万円)	960	910	279	1,152	842	804
売上高(百万円)当り CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	366	313	965	207	223	268

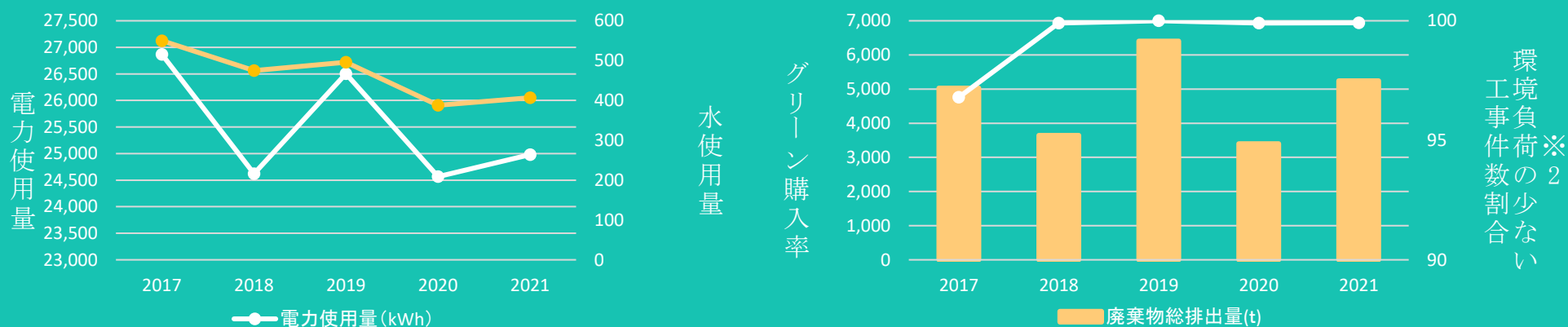
※1
2012～2014年度の平均値を
基準値とする。



項目	基準値※1	2017	2018	2019	2020	2021
燃料使用量	軽油(ℓ)	23,219	30,003	24,940	23,406	22,813
	ガソリン(ℓ)	66,957	73,705	73,897	64,754	55,611
廃棄物総排出量(t)	4,393	5,030	3,645	6,406	3,404	5,242
廃棄物資源化率(%)	98	97	99.9	100	99.9	99.9



項目	基準値※1	2017	2018	2019	2020	2021
電力使用量 (kWh)	35,300	26,866	24,623	26,501	24,566	24,978
水使用量 (ℓ)	630	550	475	496	388	407
グリーン購入率 (%)	74	91	78	92	92	94
化学物質適正管理	使用時には 適正に管理する。	使用なし	使用なし	使用なし	使用なし	使用なし
環境負荷の少ない 工事件数割合 ※2	100	100	100	100	100	100



※1 2012～2014年度の平均値を基準値とする。

※2 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- 再生砕石、再生合材の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 施工日数を短縮する検討
- 型枠、工事看板への間伐材の使用

8. 環境経営計画の取組結果とその評価

対象期間 2021年4月～2022年3月

		活動内容	担当者	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量削減	燃料 使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	オペレーター	作業指示書により工事毎に日々確認されていた。	良好である。	継続する。
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	オペレーター			
		○タイヤの空気圧チェック	車両担当者	定期点検を実施している。		
		○タイヤの磨耗チェック、交換	車両担当者			
	電力 使用量削減	○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者	前日の段取りにより、無駄な車を使わずに済んだ		
		○昼休み・帰宅時の消灯	竹村：山崎：朝比奈			
		○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	竹村：山崎：朝比奈	工事において現場事務所でのエアコン、冷蔵庫等の使用が多く、総使用量が増加した。		
		○空調機の温度設定(夏28℃、冬18℃)	竹村：山崎：朝比奈			
	○不使用時のパソコンの電源OFF	技術職・事務職員		目標値を達成することが出来なかった。	定例会での周知徹底を行う。都度無駄な電力使用がないか確認する必要がある。目標値は変更しない。	
水使用量削減(排水量削減)		○工事に自然水(河川水等)利用	オペレーター	水使用量の減少が出来ている。	目標値を達成できており良好である。	継続する。
	○食器等のまとめ洗い	事務職員				
	○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	車両担当者				
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	松元	昨年より排出量が増えていた。	目標を達成することが出来なかった。	定例会での周知徹底を行う。引き続き処分のルールに従って活動する。目標値は変更しない。
		○コピー用紙の裏紙使用	技術職・事務職員			
		○両面コピー、縮小コピーの実施	技術職・事務職員			
	産業廃棄物	○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	オペレーター	国道439号工事、県道窪川船戸線等の路面切削を伴う舗装工事受注の為、As, Con塊等の排出量が上昇した。		
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者			
		○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者			
	○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者				
グリーン購入		○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	山崎：朝比奈	再生材料の使用率 93.7%	昨年より再生材料使用率が上がり、良好である。	継続する。
	○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事担当者				
	○設計・見積り時に再生材料を選定する。	松元				
化学物資排出量削減		○化学物質とならない材料の選定	工事担当者	使用実績なし。		引き続き監視する。
	○化学物質使用量削減の為に工法検討実施	工事担当者				
環境負荷の少ない工事实施		○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者	すべての弊社元請工事にて、意識、実行することが出来た。	良好である。	継続する。
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者				
	○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者				
	○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者				

～2021年度 土佐新高 環境経営活動トピックス～

非常事態訓練

現場での火災発生を想定して、全員で非常事態訓練を行いました。



ロードボランティア

地域環境の向上を目指して、道路の美化清掃活動を行っています。

低騒音、排出ガス対策型重機の使用

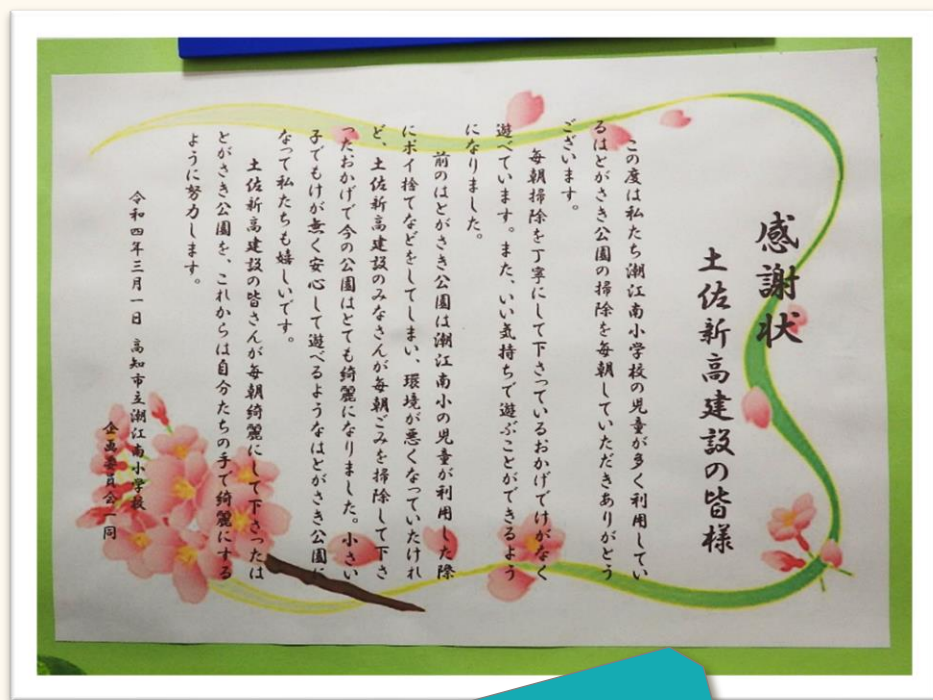
低騒音、排出ガス対策型重機を
工事で使用しています。
工事箇所周辺の騒音低減と、排
出ガス量削減に努めています。



高知県地球温暖化防止 県民会議総会

交通エコポイント活用社会
還元事業「ですかでゴー」
に寄付を行い、感謝状を頂
きました！





近隣公園の清掃と
小学校からの感謝状

本社事務所横にある鳩ヶ崎公園にて、社員が自主的に朝の清掃活動を行っております。この美化活動に関して、潮江南小学校の皆様から感謝状を頂きました。

9-1. 次年度の環境経営目標（単年）

対象期間 2022年4月～2023年3月

● 2022年度 単年度目標

総量の目標値	単位	基準値 ※1	2022年度 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	266,973	256,294 (-4%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	23,219 (±0%)
	軽油	ℓ	68,966 (+3%)
	LPG	kg	6,071 (-29%)
電力使用量※2	kWh	35,300	23,298 (-34%)
産業廃棄物排出量	t	4,393	3,427 (-22%)
一般廃棄物排出量	kg	1,500	1,350 (-10%)
水使用量	m ³	630	441 (-30%)
廃棄物再資源化率 ※3	%	97.7	99.0%以上
グリーン購入	%	74.2	81.0%以上
環境負荷の少ない工事件数割合 ※4	%	100	100

売上高百万円当たりの目標値	単位	基準値 ※1	2022年度 目標
二酸化炭素排出量 (削減率%)	kg-CO ₂	366.0	263.5 (-28%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	24.0 (-25%)
	軽油	ℓ	70.8 (-23%)
	LPG	kg	16.9 (-23%)
電力使用量※2	kWh	49.0	23.5 (-52%)
産業廃棄物排出量	t	5.74	3.56 (-38%)

※1 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※2 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0.000529 t-CO₂/kWh

出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO₂/kWh

※3 廃棄物再資源化率＝産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※4 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・遮熱性舗装の施工

●中・長期目標 2023～2025年度

総量の目標値	単位	基準値 ※1	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	266,973	253,624 (-5%)	250,955 (-6%)	248,285 (-7%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	23,219	22,987 (-1%)	22,755 (-2%)	22,522 (-3%)
	軽油	ℓ	66,957	68,296 (+2%)	67,627 (+1%)	66,957 (±0%)
	LPG	kg	8,551	5,986 (-30%)	5,900 (-31%)	5,815 (-32%)
電力使用量※2	kWh	35,300	22,945 (-35%)	22,592 (-36%)	22,239 (-37%)	
廃棄物総排出量	t	4,393	3,383 (-23%)	3,339 (-24%)	3,295 (-25%)	
水使用量	m ³	630	435 (-31%)	428 (-32%)	422 (-33%)	
廃棄物再資源化率 ※3	%	97.7	99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上	
グリーン購入	%	74.2	82.0%以上	83.0%以上	84.0%以上	
環境負荷の少ない工 事件数割合※4	%	100	100	100	100	

※1 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※2 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0.000529 t-CO₂/kWh

出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO₂/kWh

売上高 百万円当たりの目標値	単位	基準値 ※1	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標	
二酸化炭素排出量 (削減率%)	kg-CO ₂	366.0	259.9 (-29%)	256.2 (-30%)	252.5 (-31%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	32.0	23.7 (-26%)	23.4 (-27%)	23.0 (-28%)
	軽油	ℓ	92.0	69.9 (-24%)	69.0 (-25%)	68.1 (-26%)
	LPG	kg	22.0	16.7 (-24%)	16.5 (-25%)	16.3 (-26%)
電力使用量※2	kWh	49.0	23.0 (-53%)	22.5 (-54%)	22.1 (-55%)	
廃棄物総排出量	t	5.74	3.50 (-39%)	3.44 (-40%)	3.39 (-41%)	

※3 廃棄物再資源化率=産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※4 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・遮熱性舗装の施工

9-2. 次年度の環境経営計画

対象期間 2022年4月～2023年3月

2022年度		活動内容	担当者	備考
CO ₂ 排出量削減	燃料 使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	オペレーター	作業指示書に記録
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	オペレーター	
		○タイヤの空気圧チェック	車両担当者	
		○タイヤの磨耗チェック、交換	車両担当者	3か月毎、契約工場にて点検を受ける。
		○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者	
	電力 使用量削減	○昼休み・帰宅時の消灯	竹村：山崎：朝比奈	
		○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	竹村：山崎：朝比奈	
		○空調機の温度設定(夏28℃、冬20℃)	竹村：山崎：朝比奈	
		○不使用時のパソコンの電源OFF	技術職・事務職員	
水使用量削減 (排水量削減)		○工事に雨水等利用	オペレーター	
		○食器等のまとめ洗い	事務職員	
		○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	車両担当者	
廃棄物 削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	松元	集計表に計量値を記録
		○コピー用紙の裏紙使用	技術職・事務職員	再利用できる紙は所定の置き場に置く。
		○両面コピー、縮小コピーの実施	技術職・事務職員	
	産業廃棄物	○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	オペレーター	
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者	
		○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者	
		○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者	
グリーン購入		○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	山崎：朝比奈	
		○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事担当者	
		○設計・見積り時に再生材料を選定する。	松元	
化学物資排出量削減		○化学物質とまらない材料の選定	工事担当者	
		○化学物質使用量削減の為に工法検討実施	工事担当者	
環境負荷の少ない工事実施		○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者	
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者	
		○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者	工期の短い工法への変更も検討する。
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者	県工事は工事毎県へ報告

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

●当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況（法規）

対象期間 2021年4月～2022年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	松元	遵守	2022/4/15
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	松元	遵守	2022/4/15
	第12条の10、11項	○多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	松元	遵守	2022/4/15
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	松元	遵守	2022/4/15
	第12条の三7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	松元	遵守	2022/4/15
	第14条 第14条の一12項	○産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新） ○産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分表示、書面備付義務	期限切れ 3ヶ月前	松元	遵守	2022/4/15
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	松元	該当なし	2022/4/15
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	松元	遵守	2022/4/15
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	松元	遵守	2022/4/15
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	松元	遵守	2022/4/15
騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	河野	遵守	2022/4/15
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	河野	遵守	2022/4/15

(10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無)

●当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況 (法規)

対象期間 2021年4月～2022年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	河野	該当なし	2022/4/15
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	河野	該当なし	2022/4/15
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条 第5条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO ₂ -t/年以上、事業所所管大臣への報告 ○定期点検の実施 エアコン：3.7kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵機器、冷凍機：3.7kW以上 ○簡易点検の実施	年1回 1回/3年 1回/年 1回/年 1回/3ヶ月	河野	該当なし	2022/4/15
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	河野	該当なし	2022/4/15
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、排水渠等の設置	必要時	河野	遵守	2022/4/15
水質汚濁防止法	第12条	○事業所排出口における排水基準に適合しない排水の排出制限	必要時	河野	遵守	2022/4/15
	第14条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止のための必要な措置の実施	必要時	河野	遵守	2022/4/15
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	第4条 第17条 第18条	○事業者及び使用者の責務 特定特殊自動車排出ガスによる大気汚染の防止 ○使用の制限 基準に適合した特定特殊自動車の使用 ○技術基準適合命令 必要な整備を行う	必要時	河野	遵守	2022/4/15

●環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (法規)

2021年4月1日より 2022年3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

(10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無)

●環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 (条例)

対象期間 2021年4月～2022年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	河野	遵守	2022/4/15
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	河野	遵守	2022/4/15
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	河野	遵守	2022/4/15
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	河野	該当なし	2022/4/15
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	河野	遵守	2022/4/15
四万十市四万十川の保全及び 振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、 再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、サーチライト照明等の設置	必要時	河野	遵守	2022/4/15
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	河野	該当なし	2022/4/15

●環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (条例)

2021年4月1日より 2022年3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

11.代表者による全体評価と見直し・指示の結果

代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

様式 KY-006-1

社長サイン

祇園 和男

見直しに必要な情報				社長による見直し・指示																									
(環境管理責任者による報告)			報告日:	2022年6月1日																									
<p>[取組状況の評価結果]</p> <p>①関連法規等の遵守状況</p> <p>環境関連法規等への違反、訴訟はありませんでした。</p> <p>②問題点の是正処置状況</p> <p>今期内的の問題点の是正はありませんでした。</p> <p>③前回までの社長の指示事項への対応</p> <p>本年度も環境活動をコストに置き換えた数値を計算しております。</p> <p>④月間実績値が年間月平均値の3割より増えているエネルギー項目とその理由</p> <p>電気 : 冬季に事務所3階の社員寮の使用があり、電気使用量が増加した。</p> <p>ガソリン : 遠方の現場がある際に車移動距離が増え、ガソリンの使用が増加した。</p> <p>軽油 : 現場件数が多く重機の利用が増えたため、軽油の使用量が増加した。</p> <p>ガス : 現場件数が多くアスファルトフィニッシュの利用が増えたため、ガスの使用量が増加した。</p> <p>2021年度の活動実績は下記のとおりです。</p>				<p>[環境経営方針]</p> <p>今期、環境経営方針は変更しない。</p> <p>変更の必要性: 有 (無)</p>																									
<p>[目標・環境活動計画の達成状況]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値達成状況</th> <th>環境活動達成状況</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>前年度に引き続き、二酸化炭素排出量を目標値より削減出来ています。</td> </tr> <tr> <td>廃棄物削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>工事内容により廃棄物排出量が多く、目標を達成できませんでした。</td> </tr> <tr> <td>節水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>今年度は目標値より削減出来ています。</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>工事において、再生材料の使用率が93.7%に達しております。</td> </tr> <tr> <td>化学物質</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>今期に化学物質の使用はありませんでした。</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標値達成状況	環境活動達成状況	コメント	二酸化炭素削減	○	○	前年度に引き続き、二酸化炭素排出量を目標値より削減出来ています。	廃棄物削減	×	○	工事内容により廃棄物排出量が多く、目標を達成できませんでした。	節水	○	○	今年度は目標値より削減出来ています。	グリーン購入	○	○	工事において、再生材料の使用率が93.7%に達しております。	化学物質	○	○	今期に化学物質の使用はありませんでした。	<p>[環境経営目標・環境経営活動計画・環境管理実施体制]</p> <p>環境経営目標・環境活動計画・・・</p> <p>環境活動の継続と、売上高の確保の両面から環境経営実績の向上を図ること。</p> <p>環境管理実施体制・・・</p> <p>令和4月1日付けで代表取締役の交代があった。実施体制は十分に機能しており、現時点で変更の必要性はない。</p>	
目標項目	目標値達成状況	環境活動達成状況	コメント																										
二酸化炭素削減	○	○	前年度に引き続き、二酸化炭素排出量を目標値より削減出来ています。																										
廃棄物削減	×	○	工事内容により廃棄物排出量が多く、目標を達成できませんでした。																										
節水	○	○	今年度は目標値より削減出来ています。																										
グリーン購入	○	○	工事において、再生材料の使用率が93.7%に達しております。																										
化学物質	○	○	今期に化学物質の使用はありませんでした。																										
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より</p> <p>本社、幡多とも苦情はありませんでした。</p> <p>②環境関連法規等の改訂動向</p> <p>今期、当社の事業に関する環境関連法規制等の改定はありませんでした。</p>				<p>[環境経営システムの各要素]</p> <p>現場に移動する際は乗り合わせをし、ライトバンの燃料使用量を減らすこと。</p> <p>変更の必要性: 有 (無)</p>																									

社長の指示を受けての是正内容

乗り合わせ及びNET活用による車使用の無駄を減らし、環境負荷の低減を進めます。

環境管理責任者 吉村 直則